

◆ おわりに ◆

図書館 森園佳子

今年度も多くの活動を通して、学生メンバー・朗読チームの学生と触れ合うことができ、担当職員として充実した1年間でした。例年、4月の新入生勧誘イベントは学生メンバーが中心となって行っていましたが、今年度は朗読チームの2名が加わり、発表の短い持ち時間の中で谷川俊太郎の詩を朗読してくれました。普段、学生メンバーと朗読チームは活動の場が別で顔を合わせる機会が少ないのですが、読プロに所属している者同士、このようなイベントを通してお互いに刺激し合うのは新鮮な喜びでした。

「洋画から原作へ～本の旅に出かけよう」という年間テーマは、海外作品に馴染みのない人でも本が原作となっている映画を観てからなら手にとりやすいのでは、というメンバーの意見で決まったものです。そこで展示でDVDとその原作を対にして並べたところ、本とDVDのジャケットが一緒に目に入ることで、多くの利用者に原作本にも興味を持ってもらえたようでした。また、テーマに沿った活動としては、『ライオンと魔女』について藤本図書館長に解説していただいた第2回読書会や、「クリスマス・キャロル」「オズの魔法使い」という名作を声だけで表現した神奈川近代文学館での朗読会が印象的でした。来年度は「平和を考える—平和をつくり出すために—」というテーマで活動します。今年とはまた味の違う活動になるという期待が今から膨らんでいます。

最近、フェリスに限らずどこの大学でも部活やサークルに入る大学生が減っていると聞きます。正直なところ、読プロも例に漏れず、メンバーを集めるのに苦心しています。しかし、読プロは一般的な部活やサークルとは違って、全学をあげて行っているフェリスのユニークな活動だと自負しています。その証拠に、図書館員の研修などで他大学の職員と接すると、「フェリスさんは読プロで有名ですね」としばしば声をかけられるのです。そんな団体に所属している学生には誇りを持ってほしいですし、「大学でこれから何かしよう」「何かしたい」と思っているフェリス生には、読書家かそうでないかにかかわらずぜひ読プロに加わってもらいたいです。

今年度も支えてくださった皆様、ありがとうございました。今後とも読書運動プロジェクトと活動に携わる学生へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。